

JR南武線連続立体交差事業

構造・工法が決定

川崎市議会議員 野田まさゆき 自民党

3種の構造工法から
仮線河川高架式を採用

川崎市議会まちづくり委員会で、南武線連続立体交差事業の構造・工法の決定が報告されました。①仮線

（川崎市域・横浜市域共）の踏切が除却できる、移転建物件数（約400軒）が最少、などの理由により、仮線高架式（図）を決定致しました。

今後のスケジュール

川崎市では、都市計画決定に向けた新たなスケジュールを来年2～3月に発表

予定です。また、来年度以降、環境アセスメントや用地測量、事業者のJR東日本との調整などを進める方針です。都市計画決定後、事業認可取得、その後用地買収に約5年、工事は約10年を見込んでいます。

対象地域へ きめ細やかな説明を

開かずの踏切に代表される地域交通の寸断解消や、安全面の向上の為

横浜市域の 同時完成にも注力を

また、尻手駅から武蔵小杉駅間（対象区間：約5.5km）において、横浜市域（約1.0km）が存在します。隣接する横浜市との協議も遅滞なく進め、横浜市域の高架化が絶対に取り残されることなく同時に完成に向かうよう、川崎市に強く求めて参ります。

JR川崎駅
北口通路・北改札
来年2月17日(土)供用開始!!

川崎駅西口駅前
ラゾーナ⇄ミュージアム 歩道橋
来年1月11日(木)供用開始!!

野田まさゆき



- 平成27年初当選
- 総務委員会所属
- 昭和44年生まれ
- 日本大学理工学部卒
- 東急グループで17年間勤務
- 衆議院議員公設秘書

公式サイト noda.co

仮線高架

現在運行している路線を一時的に仮線路に切替え、空いた路線敷きに高架構造物を建設する方法

